

冬のみごろの植物 (12~2月)

十二月旧称 師走
二十四節気 大雪
七十二候 閉塞成冬
熊蟄穴
鰈魚群
冬至
乃東生
麋角解
雪下出麦

一月旧称 睦月
二十四節気 小寒
七十二候 芹乃榮
水泉動
雉始雊
大寒
款冬華
水沢腹堅
鷄始乳

二月旧称 如月
二十四節気 立春
七十二候 東風解凍
黄鶯睨皖
魚上氷
雨水
土脈潤起
霞始變
草木萌動

草花



ナガバザノヒゲ (長葉蛇の舌) キジカクシ科
12月~ 別名“リュウノヒゲ” 青い実が光る



ムロウテンナンショウ (室生天南星) サトイモ科
12月~ 赤いトウモロコシのようだが有毒



カンサイタンポポ (関西蒲公英) キク科
1月~ 冬のロゼットはブローチのよう



ナズナ (薺) アブラナ科
2月~ ペンペンぐさで親まれる春の七草



ハハコグサ (母子草) キク科
2月~ ゴギョウの名で呼ばれる春の七草



ニホンズイセン (日本水仙) ヒガンバナ科
2月~ 寒中に咲く芳香ある花

樹木



ヤブコウジ (藪柑子) サクラソウ科
11月~ 別名“十両” 林内に生える縁起物



フユイチゴ (冬莓) パラ科
11月~ つるを伸ばして群生、冬のスイーツ



サルトリイバラ (猿捕茨) サルトリイバラ科
11月~ 葉は柏餅に、実はリースに



ムラサキシキブ (紫式部) シソ科
11月~ 平安の才女に例えられた艶やかな実



ソヨゴ (冬青) モチノキ科
11月~ そよそよと風の音色を奏でる葉



ヤマコウバンシ (山香ばし) クスノキ科
12月~ 冬に葉を落とさない香りある落葉樹



ネジキ (槇木) ツツジ科
12月~ 冬芽は紅い塗り箸のよう



ヤブツバキ (藪椿) ツバキ科
2月~ 冬の紅葉が見事な半落葉樹



ウメ (梅) バラ科
2月~ うめ林には花梅と実梅があり



あいな里山公園の植物

国営明石海峡公園 神戸地区“あいな里山公園”は、「里地里山文化公園」をコンセプトに、地域の里地里山の景観を保全再生し、誰もが気軽に里山の自然や文化を体験できる公園として開園しました。

公園には、田んぼ、ため池、雑木林とそれらをつなぐ畦や小道、水路がパッチワークのように広がっており、これらは人の暮らしと関わりあいながらつくられてきました。この多様な自然環境は、さまざまな植物や生きものたちのすみかとなっています。

このパンフレットでは、園内に自生する植物を中心にご紹介しています。散策しながら四季おりおりの草花や樹木との出会いをお楽しみください。

春のみごろの植物 (3~5月)

樹木

三月旧称 弥生
二十四節気 啓蟄
七十二候 蟄虫啓戸
桃始笑
菜虫化蝶
雀始巢
桜始開
雷乃発声

四月旧称 卯月
二十四節気 清明
七十二候 玄鳥至
鴻雁北
虹始見
苜蓿始生
霜止出苗
牡丹華

五月旧称 皐月
二十四節気 立夏
七十二候 蛙始鳴
蚯蚓出
竹笋生
蚕起食桑
紅花榮
麦秋至

草花



フキ (蔞) キク科
3月上旬~ 花茎のフキノトウはほろ苦い春の山菜



スギナ (杉菜) トクサ科
3月上旬~ おなじみのツクシは孢子茎、シダ植物



シュンラン (春蘭) ラン科
3月下旬~ 林床でひっそりと春を告げる



カンサイタンポポ (関西蒲公英) キク科
3月下旬~ 受粉に昆虫が必要な在来種



ニオイタチツボスミレ (匂立坪堇) スミレ科
4月上旬~ 香りのよい山地のスミレ



ワラビ (蕨) コバノイシカグマ科
4月上旬~ 草地の山菜、根茎はわらび粉に



ミツバツチグリ (三葉土粟) バラ科
4月上旬~ 地面に広がって咲く



ヒメハギ (姫萩) ヒメハギ科
4月下旬~ ハギに似て小さな花から



ホタルカズラ (蛍葛) ムラサキ科
4月下旬~ 野辺にきらり瑠璃色の蛍



ウマノアシガタ (馬の脚形) キンボウゲ科
4月下旬~ 光沢のあるカップ状の花



ミヤコグサ (都草) マメ科
5月中旬~ 畔や道端に咲く親しみある花



コウゾリナ (髪剃菜) キク科
5月中旬~ 茎や葉には剛毛が



アセビ (馬酔木) ツツジ科
3月中旬~ 馬もその毒に酔いふらつくそう



シキミ (榎) マツブサ科
3月下旬~ 「抹香臭い」香りある仏前の花



スモモ (李) バラ科
3月下旬~ もも林には白、紅、ピンクと咲く



キブシ (木五倍子) キブシ科
3月下旬~ 淡黄色の花はかんざしのような



クロモジ (黒文字) クスノキ科
4月上旬~ 森の香りの高級つまようじ



ヤマウグイスカグラ (山鶯神楽) スイカズラ科
4月上旬~ 早春にうつむき咲く淡紅色の花



ヤマザクラ (山桜) バラ科
4月初旬~ 春の陽に浮かび咲く



コバノミツバツツジ (小葉の三葉躑躅) ツツジ科
4月上旬~ 春のツツジのトップランナー



ヤマツツジ (山躑躅) ツツジ科
4月中旬~ 朱赤眩しい林縁のツツジ



カスミザクラ (霞桜) バラ科
4月中旬~ 山肌に霞む遅咲きの桜



クナギ (榎) ブナ科
4月中旬~ 春風になびく風媒花



マルバアオダモ (丸葉青櫛) モクセイ科
4月下旬~ 材は軽くて粘り強い



シロバナウンゼンツツジ (白花雲仙躑躅) ツツジ科
4月下旬~ 小花清楚な崖地のツツジ



ウワミズザクラ (上溝桜) バラ科
4月下旬~ 花はアンズに似た香り



ハナイカダ (花筏) ハナイカダ科
4月下旬~ 別名は「ヨメノナミダ」



モチツツジ (鶺鴒躑躅) ツツジ科
4月下旬~ ツツジリレーのラストを彩る



ミヤマガズミ (深山莢蒾) ガズミ科
4月下旬~ 林縁に咲く清楚な花



イヌザクラ (犬桜) バラ科
5月初旬~ 忘れた頃咲く涼しげな桜



ホノノキ (朴の木) モクレン科
5月上旬~ 伸びやかな枝ぶり大きな白花



エゴノキ (野茉莉) エゴノキ科
5月中旬~ うつむき咲く小さな白花



スダジイ (すだ稚) ブナ科
5月中旬~ 開花の様は遠くからも目立つ

樹木

夏のみごろの植物 (6~8月)

六月旧称 二十四節気 七十二候
 水無月 芒種 蟄蟬生
 腐草為螢
 梅子黄
 夏至 乃東枯
 菖蒲華
 半夏生

七月旧称 二十四節気 七十二候
 文月 小暑 温風至
 連始華
 應乃学習
 大暑 桐始結花
 土潤溽暑
 大雨時行

八月旧称 二十四節気 七十二候
 葉月 立秋 涼風至
 寒蟬鳴
 蒙霧升降
 処暑 綿樹開
 天地始肅
 禾乃登

草花



ノアザミ (野薊) キク科
 5月中旬~ 夏まで逞しく咲き続ける



イチヤクソウ (一葉草) ツツジ科
 5月下旬~ 花期の全草を民間薬としたことから



シライトソウ (白糸草) シュロソウ科
 5月下旬~ 林床にそっと開花



スズサイコ (鈴柴胡) キョウチクトウ科
 6月初旬~ 星形のいじらしい花



ササユリ (笹百合) ユリ科
 6月中旬~ 初夏の里山に香るユリ



オカトラノオ (丘虎の尾) サクラソウ科
 6月中旬~ 日当たりのよい草地に咲く



ウツボグサ (靱草) シソ科
 6月下旬~ 真夏に花穂が枯れ夏枯草とも



ヤブカンゾウ (藪萱草) ススキノキ科
 7月上旬~ 夏の畦を彩る橙赤色の花



ヌマトラノオ (沼虎の尾) サクラソウ科
 7月上旬~ 湿地に咲く



セリ (芹) セリ科
 7月中旬~ 春の七草も夏に花



カワラナデシコ (河原撫子) ナデシコ科
 7月中旬~ 陽を浴び美しく咲く秋の七草



ハス (蓮) ハス科
 7月下旬~ 美しい花の下には蓮根が



キキョウ (桔梗) キキョウ科
 7月下旬~ 万葉集で朝顔と詠まれた秋の七草



コオニユリ (小鬼百合) ユリ科
 7月下旬~ うつむき立つ夏の花



キツネノカミソリ (狐剃刀) ヒガンバナ科
 8月上旬~ 畦を彩る彼岸花の仲間

草花



ミソハギ (稜萩) ミソハギ科
 8月上旬~ 湿地に咲くお盆の供花



オトギリソウ (弟切草) オトギリソウ科
 8月上旬~ 止血効果のある薬草



オグルマ (小車) キク科
 8月中旬~ 昆虫たちを集める湿地の花



センニンソウ (仙人掌) キンポウゲ科
 8月中旬~ 野生のクレマチス



イネ (稲) イネ科
 8月中旬~ 小さな花からお米に



タコノアシ (蛸の足) タコノアシ科
 8月下旬~ 花序や実の形から名称

樹木



コガクウツギ (小萼空木) アジサイ科
 5月中旬~ 別名“コンテリギ”林床で開花



ウツギ (空木) アジサイ科
 5月下旬~ “卵の花”とも



ムラサキシキブ (紫式部) シソ科
 6月中旬~ 実は紫でも花は淡桃色



クリ (栗) ブナ科
 6月上旬~ クリーム色の花は独特の匂い



アリماغミ (有馬菜羹) グミ科
 6月中旬~ 赤い実は鳥が好む



クマノミズキ (熊野水木) ミズキ科
 6月中旬~ 乳白色の花は雪のよう



ヤマモモ (山桃) ヤマモモ科
 7月上旬~ あいな里山公園のシンボル樹



ネムノキ (合歓木) マメ科
 7月上旬~ 夜になると葉を閉じ眠る



リョウブ (令法) リョウブ科
 7月中旬~ 昔は救荒植物だったそう



カラスザンショウ (烏山椒) ミカン科
 7月下旬~ 葉は蝶を実は鳥を呼ぶ



クサギ (臭木) シソ科
 7月下旬~ 花はアゲハチョウ類を呼ぶ



ヌルデ (白膠木) ウルシ科
 8月下旬~ 虫こぶはお歯黒用の黒色染料とか

秋のみごろの植物 (9~11月)

草花



リンドウ (竜胆) リンドウ科
10月中旬~ 花は陽を受けて開く



センブリ (千振) リンドウ科
10月中旬~ 千回振出してもまだ苦い胃薬



リュウノウギク (竜腦菊) キク科
10月中旬~ 葉を揉むと樟腦のような香り

九月旧称 二十四節気 七十二候
長月 白露 草露白
鶴鶴鳴
玄鳥去
秋分 雷乃収声
蛩虫环戸
水始涸

十月旧称 二十四節気 七十二候
神無月 寒露 鴻雁来
菊花开
蟋蟀在戸
霜降 霜始降
蛩時施
楓蔦黄

十一月旧称 二十四節気 七十二候
霜月 立冬 山茶始開
地始凍
金盞香
小雪 虹藏不見
朔風抃葉
橘始黄

草花



オミナエシ (女郎花) スイカズラ科
8月下旬~ 黄色眩しい秋の七草



オトコエシ (男郎花) スイカズラ科
8月下旬~ 白米にたとえられた花



ゲンノショウコ (現の証拠) フウロソウ科
8月下旬~ 道端に咲く優れた整腸生薬



ツリガネニンジン (釣鐘人參) キキョウ科
9月上旬~ 秋の野にうつむいて咲く



サワヒヨドリ (沢鶉) キク科
9月中旬~ 湿地を彩る藍那のフジバカマ!?



ヒガンバナ (彼岸花) ヒガンバナ科
9月中旬~ 畦を彩る曼殊沙華



シラヤマギク (白山菊) キク科
9月中旬~ まばらに咲く頭花は野趣に富む



ワレモコウ (吾亦紅) パラ科
9月中旬~ 風に揺れる花序は秋の風情



セトウチホトトギス (瀬戸内杜鵑草) ユリ科
9月下旬~ 鳥のホトトギスの羽模様に見立てた



ミソソバ (溝蕎麦) タデ科
9月下旬~ 別名“ウシノヒタイ”湿地に群生



イヌタデ (犬蓼) タデ科
9月下旬~ 畦を染める“あかまんま”



ヤマハッカ (山薄荷) シソ科
9月下旬~ 山に咲くハッカの意だが香りはない



ヨシノアザミ (吉野薊) キク科
9月下旬~ 春のノアザミ、秋はこちら



タコノアシ (蛸の足) タコノアシ科
10月上旬~ 赤い実の姿はタコの足そっくり



ケシロヨメナ (毛白嫁菜) キク科
10月上旬~ 緑濃い葉に白花が映える

樹木



ヤクシソウ (薬師草) キク科
10月下旬~ 遠くからも目を引く晩秋の黄菊



ススキ (芒、薄) イネ科
10月~ 茅葺屋根の主材料、尾花とも



コウヤボウキ (高野薊) キク科
10月~ 林縁を彩る草本のようだが落葉小低木



クリ (栗) ブナ科
9月上旬~ 縄文の昔から食される秋の味覚



マルバハギ (丸葉萩) マメ科
9月上旬~ 花は葉に埋もれるように咲く



ツクシハギ (筑紫萩) マメ科
9月上旬~ マルバハギに比べて花序が長い



コバナガズミ (小葉莢蒾) ガズミ科
9月下旬~ 花、実ともに美しい林縁木



ツリバナ (吊花) ニシキギ科
9月下旬~ 長い花柄にぶら下がる赤い実



クサギ (臭木) シソ科
10月上旬~ 赤い萼に瑠璃色の実は染料に



カマツカ (鎌柄) パラ科
10月中旬~ 折れにくい材は道具の柄とされた



カキノキ (柿の木) カキノキ科
10月下旬~ 地元ではクボガキと呼ぶ小さな甘柿



アキグミ (秋茱萸) グミ科
11月上旬~ 初めは渋いが熟すと甘酸っぱい



イロハモミジ (いろは紅葉) ムクロジ科
11月中旬~ 古くに植えられた紅い大木



タカノヅメ (鷹の爪) ウコギ科
11月下旬~ 黄葉の林を歩くと甘い香り



コナラ (小樺) ブナ科
11月下旬~ 晩秋、雑木林は橙色に燃える